

牛乳乳製品の販路拡大等支援事業における事業協力者関連事業

事業No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	牛乳乳製品のあらゆる価値情報を網羅的に整理した広報資料の作成	牛乳乳製品の価値情報を網羅的に整理した資料を作成し広報を行う	既存資料「牛乳乳製品の知識」の改訂版をとして、牛乳・乳製品に関するあらゆる価値情報を健康栄養、社会・文化などあらゆる角度から網羅的に整理した広報資料を作成する。なお、作成する資料は、冊子体データ及びWEB版データの2種類とする。 企画にあたってはこれまでの実績を参考にすること。 https://www.j-milk.jp/knowledge/dairy/berohe0000004ak6.html 牛乳乳製品の知識 参照 https://www.j-milk.jp/findnew/ findNew 参照	4月～3月			・既存資料の改訂版としてエビデンス情報の確認・記載・更新を必須とし、現在の社会的課題を背景とした章立ての工夫や修正を加えること。 ・課題の抽出や章立てについては、応募者が設定するほか、Jミルクが設置する「編集委員会」等の意見を最大限考慮できること。	10,000
2	全国の管理栄養士・栄養士等による牛乳の消費拡大につながる実践活動の推進	全国的な管理栄養士・栄養士による消費者への栄養指導の実践促進	全国各地の管理栄養士・栄養士等(以下、栄養士等)との連携による、全国の「栄養指導の実践現場」、栄養士等による「SNS投稿」による情報発信など、牛乳消費促進につながる消費者対象の啓発活動を実施。なお、栄養士等による栄養指導の実践の現場(学校、地域、イベントなど)での実施にあたっては、栄養士等が活用しやすい広報資材の作成・配布、乳業会社とも連携した牛乳等のサンプリング提供などを実施すること。	6月～9月	栄養士等、消費者	幅広い消費者層の食生活課題を踏まえた牛乳乳製品の栄養的な価値の訴求。	牛乳の新たな使用方法や消費者の新規利用、利用の再開を目的とした広報活動、牛乳のサンプル提供元及び提供先との連携のための事務局を開設し、確実に遅滞なく実施できる運営体制を確保すること。	40,000
3	学校給食のない日を対象とした牛乳乳製品の普及啓発活動	牛乳乳製品の活用促進及び牛乳の栄養的価値や利用価値の訴求	学校のない土日祝日や冬休み・春休みに、小中学生の児童生徒とその保護者を対象に、「給食のない日」にも家庭で牛乳が摂取されるよう、休日でも牛乳乳製品の飲用・利用習慣を定着するための各種コンテンツの開発、学校と連携した食育活動、消費者向けイベントの実施、SNSを活用した情報発信等による普及啓発活動を実施。なお、事業実施にあたっては、以下の「土日ミルク」の活動を参考にし、全国の学校や酪農乳業等の関係者とも連携した取り組みを意識すること。 https://donichi-milk.jp/ なお、全国の関係者と円滑な事業運営を行うため必要に応じて運営事務局を開設・運営する。	5月～3月	子どもとその保護者、酪農乳業関係者、教育関係者等	牛乳乳製品の価値や酪農乳業の理解促進	学校給食休止時の消費減に対応するための牛乳乳製品の普及啓発活動	200,000